

Ⅲ 基準ごとの自己評価

基準 1 大学の目的

(1) 観点ごとの分析

観点 1-1-①：大学の目的（学部、学科又は課程等の目的を含む。）が、学則等に明確に定められ、その目的が、学校教育法第 83 条に規定された、大学一般に求められる目的に適合しているか。

【観点到係る状況】

大学の目的は、学則において「学術研究の中心として深く専門の学芸を研究し、かつ、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）の規定に従い高い学問的教養を授けるとともに、人格の向上を図ることを目的とする。」と、学校教育法の規定に言及しつつ定めている（資料 1-1-1-A）。

また、長期的な視野に立って大学の理念を謳う「大阪市立大学憲章」を平成 22 年 3 月に制定し、大学の目的を、「市井の精神に発した、自主独立・自由進取の気風あふれる建学の伝統」を基礎にして「真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備えた有為な人材を育成するとともに、基盤研究を重視しつつ、都市に収斂するあらゆる現代的諸問題を、人類普遍の喫緊の課題の一つととらえ、大阪市をはじめとする地域社会と連携しつつ、不断に創造的な思考を重ねていくことによって、その解決に邁進すること」としている（資料 1-1-1-B）。

公立大学法人大阪市立大学の第 2 期中期目標（平成 24 年度から平成 29 年度）においても、「都市型総合大学として、都市を学問創造の場と捉え、都市の諸問題に取り組み、特に都市科学分野の研究とシンクタンク機能を充実するなど、大阪の活性化になくてはならない存在として、市民に開かれ、市民が実感できる形で都市や地域に貢献していかなければならない。」と前文に謳い、公立大学の特性をふまえた大学の目的を定めている（資料 1-1-1-C）。

さらに、大学の目的を踏まえて、学部・学科においても理念及び教育研究上の目的を明確に定め、本学ウェブサイトに掲載し公開している（資料 1-1-1-D）。

資料 1-1-1-A 学則における大学の目的

大阪市立大学学則（抜粋）

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 大阪市立大学（以下「大学」という。）は、学術研究の中心として深く専門の学芸を研究し、かつ、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）の規定に従い高い学問的教養を授けるとともに、人格の向上を図ることを目的とする。

（出典）http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/files/copy2_of_23_gakusoku270401.pdf

資料 1-1-1-B 大阪市立大学憲章

【大阪市立大学憲章】（抜粋）

・・・略

大学は人類普遍の真理の探究に基づき、積極的な教育・研究・社会貢献の諸活動によって、日本国民のみならず、世界市民における現在の改善と未来の発展に寄与することをその本来の使命とする。

大学人はこの使命を自覚し、自らの責務として、真摯にして熱意ある姿勢をもってこの諸活動にのぞみ、大学人としての自己の全き実現をめざすとともに、社会に対する責任を正當に果たすことが求められる。

大阪市立大学は、市井の精神に発した、自主独立・自由進取の気風あふれる建学の伝統と、国際的にしてかつ個性的な研究および、高度にしてかつ闊達な教育環境を有する国内有数の大学である。

大阪市立大学は、この卓絶した伝統と現在に誇りを持ち、これに基づく固有の理念と使命を掲げ、あらゆる大学に普遍の理念や使命と調和させ、本憲章を未来に向けての行動指針とする。それは、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備えた有為な人材を育成するとともに、基盤研究を重視しつつ、都市に収斂するあらゆる現代的諸問題を、人類普遍の喫緊の課題の一つととらえ、大阪市をはじめとする地域社会と連携しつつ、不断に創造的な思考を重ねていくことによって、その解決に邁進することである。

・・・以下略

（出典） <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/charter>

資料 1-1-1-C 中期目標における大学の理念（抜粋）

公立大学法人大阪市立大学第二期中期目標（前文～第1）

大阪市立大学は、我が国で数少ない公立の総合大学として130年余りの歴史と伝統を有しており、「大阪市立大学憲章」の基本的精神を踏まえ、大学の普遍的使命である真理の探究はもとより、都市型総合大学として、都市を学問創造の場と捉え、都市の諸問題に取り組み、特に都市科学分野の研究とシンクタンク機能を充実するなど、大阪の活性化になくてはならない存在として、市民に開かれ、市民が実感できる形で都市や地域に貢献していかなければならない。

また、総合大学の魅力である多様性を強みとして最大限に発揮し、高度の専門性とグローバルで幅広い視野を有し、都市大阪の成長や地域の発展に貢献する多様で有為な人材を育成していかなければならない。

こうした取組を通じて、「国立大学のコピーであってはならない」という建学の精神に改めて立ち返り、大阪市民の気概と活力により支えられてきた伝統を継承して、高度な教育や先進的で卓越した研究を国際的視点で推進することにより、大阪市立大学が、積極的に入学したい大学として選ばれるとともに、都市研究の拠点として大阪市を核とした関西圏の発展や国際化をリードし、市民に愛され市民が誇る大学となることを期待する。

大阪市立大学にあっては、新しい中期目標のもと、大学のプレゼンスをより一層向上させるため、教職員一人ひとりがその責任を負っているとの共通認識に立ち、理事長兼学長のリーダーシップにより、中期目標の達成に向け、取り組むことを望む。

第1 中期目標の期間

平成24年4月1日から平成30年3月31日まで

（出典） http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/corporation/vision_plan

資料 1-1-1-D 各学部の理念、教育研究上の目的・人材育成の目標

学部・研究科名	理念	教育研究上の目的・人材育成の目標
商学部	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会との交流を重視する「考える実学」を基礎にした、時代を見通せる能力の育成 ・都市に基盤を置き世界的な視野に立った、経営学・商学・会計学に関する教育研究の発展 ・先端的な研究の成果を活かした教育の発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学・商学・会計学の学問的知識を身につけ活かすことができる人材の育成 ・企業、自治体、NPO/NGOなどのマネジメントで活躍できる人材の育成 ・課題発見能力と解決能力を身につけた個性と社会性あふれる人材の育成
経済学部	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル経済の進展下における最高水準の理論的・実証的分析 ・「人の心」をもって政策や制度を考える人間学としての経済学の追求 ・アジアや太平洋の経済圏にかかわった主導的な教育・研究拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律的な調査・発信能力、豊かな構想力、および的確な判断力を持つプラクティカル・エコノミストの育成 ・国内外の経済活動に関わる重要な分野で、个性的で創造的な活動によるリーダーシップを発揮する人材の育成
法学部	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発信能力とリーガルマインドを持つ人材育成のための充実した教育・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に問題を発見する能力と、自己の見解を社会に発信する能力を持つ人材の育成 ・法学的政治学的知識を主体的に展開する能力、特に自己の主張を論理的に構成し表現・文章化する能力を持つ人材の育成
文学部	<ul style="list-style-type: none"> ・人文科学・行動科学の方法や考え方を通じての人間、社会、文化、言語の諸事象とそこに内在する普遍性の探究 ・人間、社会、都市、文化をとりまく今日的課題の解決に貢献し得る人文科学・行動科学の構築 ・先端的研究成果をグローバルな視野から情報発信できる国際的競争力を備えた最高水準の教育・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・人文科学・行動科学の方法や考え方を通じて人間、社会、文化、言語の諸事象について深く考えることのできる人材の育成 ・コミュニケーション能力を身につけ、国際的、歴史的視野から問題解決をはかる能力を備えた人材の育成 ・教育機関、文化行政、出版・ジャーナリズム、国際交流、情報サービス産業などの第一線で活躍できる専門職業人の育成 <p>[哲学歴史学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や哲学などの、人間のアイデンティティーにかかわる根本的な問題について考える人材の育成 <p>[人間行動学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人」とその「環境」の複雑さを、さまざまな視点から理解していくことのできる人材の育成 <p>[言語文化学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語を通じた人間にアプローチし、人間が作り上げた文化を探求できる人材の育成

<p>理学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・極微の世界から広大な宇宙までを対象に、実験的・理論的手法を駆使した、自然界を律する真理の探究 ・自然の存在様式と法則性の体系的学習を基礎に、自然の摂理に触れることへの喜びを教育の原点として、自然科学や最先端科学・技術の振興に寄与できる国際的な視野をもった人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の最先端に連なる基礎学力を身につけ、伸びやかな発想で社会に貢献できる人材の育成 ・中高教員などの教育職、各省庁及び地方公共団体や民間企業などで活躍できる人材の育成 <p>[数学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代数学の基礎概念を修得できる人材の育成 <p>[物理学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に対する認識を深く豊かに掘り下げ、同時に産業発展の原動力にもなっている物理学の探求を行う人材の育成 <p>[化学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質を中心に据えた科学的センスを養い、学修した成果を社会の様々な分野でいかすことのできる人材の育成 <p>[生物科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命現象に共通する性質をあきらかにし、生物多様性の本質を探究する人材の育成 <p>[地球学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去・現在の地球の実体を学際的に認識し、未来を予測するための知識や技術を構築できる人材の育成
<p>工学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学を基礎とした柔軟な工学的センスと確かな倫理観を備えた技術者・研究者の育成 ・新産業の創生など社会の発展に工学的貢献ができる技術者・研究者の育成 ・地球的視点から多面的に諸問題を解決し、21世紀の都市の創造に貢献できる技術者・研究者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学と数学の基礎知識を習得し、科学技術の新たな展開にも柔軟に対応できる人材の育成 ・工学における専門知識と基礎的なデザイン能力を習得し、習得した知識や能力を実際の技術に活用できる人材の育成 ・工学的課題を論理的に思考できる人材の育成 ・日本語および外国語による基礎的コミュニケーション能力を有する人材の育成 ・技術者、研究者としての社会的使命と責任を自覚し、倫理に基づき判断行動できる人材の育成 <p>[機械工学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子・分子レベルのナノ・マイクロなスケールから、環境・社会などのマクロスケールまで横断的にとらえた特色あるカリキュラムを提供し、様々な視点から問題を考察できる能力を持つ人材の育成

		<p>[電子・物理工学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気工学、電子工学、応用物理学などの広い科学技術における先端技術の開拓に寄与すべく、日進月歩の高度技術社会をリードできる高い専門性・応用能力ならびに、科学技術者としての高い倫理性を兼ね備えた人材の育成 <p>[電気情報工学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術が社会に及ぼす影響を配慮し、時代の要請に応え得る、電気・情報・通信関係の広範囲な問題に対する適応能力を習得し、さらに、未知の問題を自らの手で解決していく自主性と独創性を持った人材の育成 <p>[化学バイオ工学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり」を通じて、持続的な発展と地球環境保全が両立した豊かで安全な社会の構築に貢献する人材の育成 <p>[建築学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟期を迎えた社会の要求や課題を的確に把握し、それらの実現や解決に対して「理論的」かつ「実践的」に対応しうるデザイナーやエンジニアの育成 <p>[都市学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の要請を的確に把握し、倫理観と責任感に基づいて主体的に行動する「環境都市づくり」のプロフェッショナル育成
<p>医学部医学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・智・仁・勇の基本理念のもとで、人のもつ悩みや痛みを受け止めることができる、深く暖かい心を持ち、高度な医療を実践する人を育てる ・最先端の創造的な医学研究を達成できる、世界的に活躍する研究指導者を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人を分け隔てなく、暖かく受け入れる心を持つ医師の育成 ・最新の基礎医学と臨床医学をバランスよく修得し、実践する能力を持つ医師の育成 ・科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を備えた医師の育成 ・国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を持つ医師の育成 ・市民の保健医療ニーズに応えうる医師の育成

<p>医学部看護学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「変わらざる“慈愛の光”ともし継ぎて」の精神のもと、豊かな人間性と想像力を育み、高度の専門知識と技術を備えた看護職者を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養と倫理的態度を兼ね備えた人間性豊かな看護職者の育成 ・科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を備えた看護職者の育成 ・保健・医療・福祉における高い臨床能力と基本的な指導・調整能力を備えた看護職者の育成 ・大阪市の地域特性をふまえ、市民の保健医療ニーズに応えうる看護職者の育成 ・国際化・情報化へ対応しうる看護職者の育成 ・生涯学習を支援し、看護学の専門性を探究する看護職者の育成
<p>生活科学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の生活問題を生活者の視点から科学的に究明する ・健康・環境・福祉を3本柱にした学際的で問題解決指向の研究・教育 ・生活科学研究のフロントランナーとして新しいヒューマンライフの創造 	<p>「健康」「環境」「福祉」を基礎概念として食品栄養科学科、居住環境学科、人間福祉学科の3学科を置き、現代社会の生活問題を学際的、複合的に学習することにより、生活や社会の問題に関する意識を醸成し、問題解決の理論的、実践的知識と能力をもつことのできる人材の育成</p> <p>[食品栄養学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で真に豊かな食生活の創造をめざして、人々の食と栄養に関わる複合領域を学際的に教育し、優れた科学的思考力と実践力を併せ持つ人材の養成 <p>[居住環境学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活用品や生活機器、インテリアから住宅、居住地、都市空間といった日常生活を取り巻く物的環境に関するデザイン理論や計画、設計、管理に関する理論と技術を習得し、応用しうる人材の養成 <p>[人間福祉学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関・福祉施設・医療施設・心理施設・教育施設・コミュニティなど国内外のさまざまな実践現場で活躍できる人材の養成

(出典) <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/faculty>

【分析結果とその根拠理由】

大学の目的が学則等に明確に定められるとともに、学部・学科ごとに目的・理念が明確に定められ、それぞれ本学ウェブサイト等に掲載され公開されている。またその目的は、学校教育法に規定された大学一般に求められる目的に適合している。

観点 1-1-②： 大学院を有する大学においては、大学院の目的（研究科又は専攻等の目的を含む。）が、学則等に明確に定められ、その目的が、学校教育法第 99 条に規定された、大学院一般に求められる目的に適合しているか。

【観点に係る状況】

大学院の目的は、大学院学則において、学校教育法の規定に沿って明記されている（資料 1-1-2-A）。また、各研究科の目的についても、それぞれ理念及び教育研究上の目的が明確に定められている（資料 1-1-2-B）。

資料 1-1-2-A 学則における大学院の目的

大阪市立大学大学院学則（抜粋） 第 1 章 総則 （目的） 第 1 条 大阪市立大学大学院（以下「大学院」という。）は、学術の理論及び応用を教授研究し、精深な学識と研究能力を養い、文化の進展に寄与することを目的とする。
--

（出典） http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/files/24_ingakusoku270401.pdf

資料 1-1-2-B 各研究科の理念、教育研究上の目的・人材育成の目標

学部・研究科名	理念	教育研究上の目的・人材育成の目標
経営学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会との交流を重視する「考える実学」を基礎にした、時代を見通せる能力の育成 ・都市に基盤を置き世界的な視野に立った、経営学・商学・会計学に関する教育研究の発展 ・先端的な研究の成果を活かした教育の発展 	（前期博士課程） ・経営諸科学に関する専門知識と研究能力を有する人材の育成 ・ビジネスとビジネス社会に関する課題発見能力・政策提言能力 ・変革マインドを兼ね備えた高度専門職業人の育成 （後期博士課程） ・経営諸科学に関する高度な専門知識を有する自立した研究者の育成 ・民間部門・公的部門・非営利組織などの学問的諸課題について、高度な研究を推進する研究者の育成
経済学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル経済の進展下における最高水準の理論的・実証的分析 ・「人の心」をもって政策や制度を考える人間学としての経済学の追求 ・アジアや太平洋の経済圏にかかわった主導的な教育・研究拠点 	（前期博士課程） ・高度な経済学的知識を習得したうえで種々の現実問題に取り組み、問題の解決に資することができる総合的能力をもったジェネラル・エコノミストの育成 ・国内外における経済関係領域において、専門的知識と主体的行動力を生かして十分活躍できる人材の育成 （後期博士課程） ・より高度な専門分野の研究に特化しつつも、広い視野と現実的な感覚を豊かに持つアドバンスト・エコノミストの育成 ・国際的な経済活動の舞台において専門的知識と豊富なキャリアを生かして十分活躍できる人材の育成
法学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・法学政治学の研究者と高度職業人を養成する最高水準の教育・研究 	（前期博士課程）（後期博士課程） ・比較法的・歴史的・基礎法的研究能力を有する法学研究者の育成

	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市で学ぶ、都市から学ぶ」法科大学院として市民のための法律家を養成する教育・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度の研究能力を有する政治学研究者の育成 ・法学政治学に関する高度の能力を有する職業人の育成（法曹養成専攻） ・新しい法的課題に果敢にチャレンジする精神を持ち、現にある法律の解釈にとどまらない批判的精神を有し、さらに、紛争当事者の苦悩に共鳴できる豊かな人間性を有する法曹の育成 ・「企業の法的ニーズ」、あるいは「社会的弱者を含む市民の日常的法的ニーズ」や「国際取引や外国人を当事者とする法的ニーズ」に応える人材の育成
文学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・人文科学・行動科学の方法や考え方を通しての人間、社会、文化、言語の諸事象とそこに内在する普遍性の探究 ・人間、社会、都市、文化をとりまく今日的課題の解決に貢献し得る人文科学・行動科学の構築 ・先端的研究成果をグローバルな視野から情報発信できる国際的競争力を備えた最高水準の教育・研究 	<ul style="list-style-type: none"> （前期博士課程） ・人文科学や行動科学の分野において、先端的知識と方法を身につけ独創的研究をみずから行いうる人材の育成 ・地域の教育に貢献し、都市が抱えるさまざまな問題の解決に応えうる高度専門職業人の育成 ・生涯学習への意欲をもち、人間、社会、文化、言語に対する深い理解を通して、国際社会・地域社会においてさまざまな文化的活動を担うことのできる高度教養人の育成 （後期博士課程） ・人文科学・行動科学の最先端の研究課題を創造的に探究する高度な研究能力を備えた研究者の育成 ・国内外の教育研究組織や機関と連携し、人文科学・行動科学の国際的、学際的な研究を主導的に推進する研究者の育成
理学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・極微の世界から広大な宇宙までを対象に、実験的・理論的手法を駆使した、自然界を律する真理の探究 ・自然の存在様式と法則性の体系的学習を基礎に、自然の摂理に触れることへの喜びを教育の原点として、自然科学や最先端科学・技術の振興に寄与できる国際的な視野をもった人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> （前期博士課程） ・鋭い問題意識と解決能力をもち、先端科学・技術の発展と応用展開を推進できる研究者・高度専門的職業人の育成 ・中高教員などの教育職や各省庁、地方公共団体及び民間企業におけるIT、情報、物理、化学、製薬、バイオ、環境などの分野で、研究・開発の中核として活躍できる人材の育成 （後期博士課程） ・最先端科学の研究課題を先導的に推進し、世界にはばたく研究者・高度専門的職業人の育成 ・大学、国公立や民間の研究機関及び企業の研究開発のなかで、基礎及び応用研究をリードする研究者、世界を舞台に活躍できる人材の育成
工学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・科学を基礎とした柔軟な工学的センスと確かな倫理観を備えた技術者・研究者の育成 ・新産業の創生など社会の発展に工学的貢献ができる技術者・研究者の育成 ・地球的視点から多面的 	<ul style="list-style-type: none"> （前期博士課程） ・専門技術者および研究者として、より深い専門知識と応用力を有する人材の育成 ・工学的課題を発見する能力及びその課題を解決する能力を備えた人材の育成 ・高度なコミュニケーション能力を備え、国際的に活躍できる人材の育成 （後期博士課程） ・高度な研究開発能力を備え、研究・教育の中核を担い、社会に対して主体的に貢献できる人材の育成

	<p>に諸問題を解決し、21世紀の都市の創造に貢献できる技術者・研究者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野において独創的な研究開発を推進できる人材の育成 ・専門分野における創造性と問題解決能力を有し、産官学の研究開発領域において十分な指導力を発揮できる人材の育成
医学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・智・仁・勇の基本理念のもとで、人のもつ悩みや痛みを受け止めることができる、深く暖かい心をもち、高度な医療を実践する人を育てる ・最先端の創造的な医学研究を達成できる、世界的に活躍する研究指導者を育てる 	<p>(修士課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な最先端の医学知識や技術を修得する医師以外の医療職者、研究者、企業人の育成 <p>(博士課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端研究を先導的に推進し、独創性に富み、世界的に活躍する医学研究者の育成 ・大学、研究機関における基礎的あるいは臨床的研究をリードする指導者の育成
看護学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・「変わらざる“慈愛の光”ともし継ぎて」の精神のもと、前期博士課程では高度な看護実践者ならびに教育者、研究者を育成し、看護学の学問体系を構築できる研究・教育者ならびに看護の質の改善のために組織的な指導ができる実践者を育成し、後期博士課程では地域および国際社会の健康と福祉の向上に貢献する 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学の進歩と看護教育の発展を推進できる教育者・研究者の育成 ・高度な看護実践能力と看護実践の場で教育・指導的役割を担う高度専門職の育成
生活科学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の生活問題を生活者の視点から科学的に究明する ・健康・環境・福祉を3本柱にした学際的で問題解決指向の研究・教育 ・生活科学研究のフロンランナーとして新しいヒューマンライフの創造 	<p>(前期博士課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の生活問題を学際・複合的に解明し、問題解決能力をもった研究者や高度専門職業人の育成 <p>(後期博士課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論と実践の両面から生活科学研究の最先端を担う研究者の育成
創造都市研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国有数の社会人向け大学院として、都市の創造活動を担う指導的人材を輩出し、地域の活性化に貢献 ・都市の諸問題の解決に取り組む中で、教員・学生が協力して新しい知識を創造 ・創造都市実現に必要な 	<p>(修士課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の第一線で活躍する社会人に対し、高度の学問知識と問題解決の高い能力を獲得させる ・各研究分野ごとに明確な育成目標を掲げ、企業・公共団体・非営利団体の各分野でイノベーションを遂行する人材を育成 ・社会経済の指導者に必要な人格を磨き、将来を見通す見識とリーダーシップを涵養 <p>(博士課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興、公共政策、地域再生、都市情報基盤整備などの都市のかかえる諸課題に対し、卓越した研究能力と創造的な問題解決

	知識創造の中心として、 世界の大都市経営に貢献 する知の卓越中心 (Center of Excellence) をめざす	能力を持った実務的な研究者、「実践的な知」「役立つ知」の創 造を担うことができる人材の育成 ・国内外の諸都市の諸課題に対し、国際的、学際的な研究・交流 をすすめ、実践上の卓越した知見の創造に貢献することができる 研究者の育成
--	--	--

(出典) <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate>

【分析結果とその根拠理由】

以上のように、大学院学則に定められた本学大学院の目的、及び各研究科の理念や教育研究上の目的は、学校教育法に規定された大学院一般に求められる目的に適合している。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

・本学は、大学および大学院の目的を明確に規定するとともに、大阪市を設置団体とする公立大学としての特性を反映した大阪市立大学憲章の制定をはじめ、中期目標での目的の明確化など、普遍的に要請される大学の目的に加えて、市民の大学としての目的を明確にしている。また、各学部・研究科も大学全体の目的に沿う目的を定めている。

【改善を要する点】

・いくつかの学部において、学士課程と大学院課程との理念・教育研究上の目的を同様のものとしている場合がある。本来は別の課程であるので、それぞれに応じた理念の明確化が求められる。